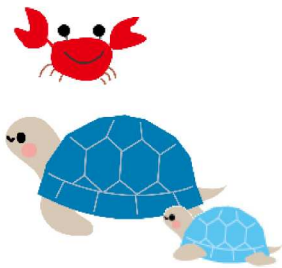


# せったん

第136号 2011年8月25日

発行 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部  
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階  
TEL078-393-1801 (代) FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部



市民公開  
企画

## 「ミツバチの羽音と地球の回転」

### 上映会&学習会に105人が来場

#### 【映画「ミツバチの羽音と地球の回転」の感想】

- ◆原発反対の人間として輝いている方々の生き方、本当にすばしかった。多くの日本人に観て欲しい。戦後のエネルギー政策の誤り、代償は大きかったですが、ぜひ、今、反原発に進めて欲しい。未来の子どものためにも！(60歳・女性)
- ◆僕も今日本でどのようなことが起こっているのかが良く分かりました。(14歳・男性)
- ◆大変すばしかったです。スウェーデンを見習わなくては。電力会社の「独占」をなんとかしたいですね。(61歳・女性)
- ◆心をゆさぶられる素晴らしい内容でした。(71歳・男性)



#### 【学習会の感想】

- ◆60才の私(元教員)なのに日本にいつの間にか原発が54基もあったことさえ知らずに過ごしてきたことにショックを受けています。自民党政権が原発政策を進めてきたことのツケの大きさに身震いしています。先生の言われるとおり農水蓄産業を侵してまで、絶対に原発は廃止すべきです。(60歳・女性)
- ◆たくさんの資料で時間が足りませんでした。新聞、テレビだけでなく本当の情報をありがとうございました。(68歳・女性)
- ◆放射能装置のごまかしを見抜くこと、その怖さを知らされた。(71歳・男性)



#### 【協会への質問・要望】

- ◆素晴らしい企画で今後も発信し続けてください。出来るだけ参加したいと思います。(68歳・女性)
- ◆タイムリーなとてもすばらしい講演と映画に感謝しております。(60歳・女性)
- ◆また三田でやってください。(62歳・男性)



講師の森岡芳雄先生

また、映画上映前の学習会では、保険医協会環境・公害対策部の森岡芳雄部長が「福島原発〜一般病院の小児科医が想定する放射線被害」



挨拶をする森下順彦支部長(右)と司会を務める中西透先生(左)

3月11日に発生した東日本大震災による福島第一原発事故の放射線被害が拡大し、原子力依存のエネルギー政策の見直しやクローズアップされる中での開催となり、市民の関心も高く100人を超える参加となり、「考えさせられるすばらしい映画だった」などの感想が多数寄せられた。

折りしも、この数日前に全国から寄せられた上関原発建設の反対署名が100万を超えたと報道された。また、映画上映前の学習会では、保険医協会環境・公害対策部の森岡芳雄部長が「福島原発〜一般病院の小児科医が想定する放射線被害」の小児科医が想定する放射線被害」

をテーマに講演。森岡先生は、東京電力福島第一原発の事故で汚染は大気・土壌・海と広がっており、今後放射線障害による健康被害が必ず出てくる



キッピーモールに105人が参加(8/7)

北摂・丹波支部で毎年取り組んでいる市民公開の映画会、5年目の今年は、自然環境とその生活を守るために原発建設の反対運動を続けている瀬戸内海山口県祝島の島民とスウェーデンで自然エネルギーの活用に取り組みむ人々を描いたドキュメンタリー映画「ミツバチの羽音と地球の回転」を上映した。



◆映画『ミツバチの羽音と地球の回転』  
製作：2010年 日本 時間：135分  
監督：鎌仲ひとみ  
日本のエネルギーの最前線、上関原発計画に向き合う祝島の島民と、スウェーデンで持続可能な社会を構築する取り組みを行う人々の両面から現代のエネルギー問題を描き出すドキュメンタリー。



# 第23回支部総会開く

## 記念企画

### 「日常的な治療行為が最高裁判所に」 医療機関におけるリスクマネジメント

北摂・丹波支部は、7月9日に第23回支部総会を開催、総会議事・記念講演に14人が参加した。



森下順彦支部長(右)と議事を務める武中睦美副支部長(左)

また、役員改選では、現幹事全員の留任と新たに杉本健郎先生(篠山市)を幹事・予備評議員に選出、歯科部会から小寺修先生(三田市)が評議員に選出された。

記念講演は「日常店な治療行為が最高裁判所に」をテーマに、米田泰邦法律事務所所長の鵜飼万貴子弁護士が講演。講師は、智歯抜歯後に神経損傷があったとして患者から提訴され、最高裁まで数年をかけて争われた事例を紹介。日常的に医療機関が留意すべき点として、治療行為に対して何らかの訴えがあった場合は、まず相手方の感情を理解するとともに、理解していることを示すこと、さらに医療機関内で事実を確認した上で全員が統一した見解をもって対応することが重要とした。

さらに患者対応として、できる



鵜飼万貴子弁護士

こととできないことをはっきり説明し、時間がかかることを伝えておくことも必要になると説明した。また、裁判になった場合に証拠となるカルテについて、記載しておくべきことについても具体的な事例で説明するとともに、カルテの開示について、個人情報保護の点からも本人以外への開示は慎重な対応が求められるとした。



懇親会も活発な意見交換で交流を深めた



## 北摂・丹波支部役員 (敬称略)

|        |           |           |  |  |  |
|--------|-----------|-----------|--|--|--|
| 【支部長】  | 森下 順彦 (再) |           |  |  |  |
| 【副支部長】 | 木村 忠史 (再) | 武中 睦美 (再) |  |  |  |
| 【支部幹事】 | 安部 治郎 (再) | 武本 淑子 (再) |  |  |  |
|        | 廣瀬 智 (再)  | 大槻 栄人 (再) |  |  |  |
|        | 岡本 晴夫 (再) | 中西 透 (再)  |  |  |  |
|        | 福田 俊明 (再) | 小寺 修 (再)  |  |  |  |
|        | 杉本 健郎 (新) | 多幡 秀隆 (再) |  |  |  |
|        | 増田 耕一 (再) | 塩見 壮司 (再) |  |  |  |
|        | 宮崎 直之 (再) | 水野 良司 (再) |  |  |  |
|        | 高見 啓二 (再) |           |  |  |  |

## 協会役員 (敬称略)

|         |           |           |  |  |
|---------|-----------|-----------|--|--|
| 【理事】    | 森下 順彦 (再) | 福田 俊明 (再) |  |  |
| 【参与】    | 高見 啓二 (再) |           |  |  |
| 【医科評議員】 | 武中 睦美 (再) | 安部 治郎 (再) |  |  |
|         | 木村 忠史 (再) |           |  |  |
| (予備評議員) | 武本 淑子 (再) | 杉本 健郎 (新) |  |  |
| 【歯科評議員】 | 大槻 栄人 (再) | 中西 透 (再)  |  |  |
|         | 岡本 晴夫 (再) | 小寺 修 (新)  |  |  |

## 北摂・丹波支部 在宅医療研究会のご案内

# 認知症の基礎知識

### —アルツハイマー型、レビー小体型、前頭側頭型—

日時 10月15日(土) 午後6時～8時  
 会場 三田市総合福祉保健センター 3階会議室  
 講師 つちやま内科クリニック(西宮市) 院長 土山 雅人 先生  
 参加費 無料

本邦の認知症患者は現在200万人を超えると推定されており、10年後には300万人に達すると言われています。認知症は高齢者に多く見られる疾患で、65歳以上では7～8%、85歳以上では4人に1人が認知症であると考えられています。まさに認知症は、common diseaseです。

認知症は、「正常に達した知的機能が後天的な器質性障害によって低下して、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態」です。認知症の診断には、高次脳機能検査や画像検査なども重要ですが、それ以前に個々の症例における日常生活場面での変調について情報を得て評価することが必要です。

「後天的な器質性障害」には種々の疾患が含まれます。慢性進行性の神経細胞の脱落・消失をきたす変性型認知症が全体の70～80%を占めますが、一部には治療可能な認知症 (treatable dementia) があることも留意すべきです。今回は、変性型認知症の代表的な三つの疾患について、簡単に解説します。(土山記)

先生はじめスタッフの皆さんもふるってご参加ください。